

令和5年度佐賀大学一般選抜 個別学力試験

科目：国語（教育学部：前期）

1. 出題意図

【一（現代文）】

日本語における比喻表現の意味変化について論じた評論『うつりゆく日本語』（今野真二著）を題材とし、漢字や語句の理解力、文章の解釈や自分の考えの形成に関わる思考力、読み取ったことを適切に構成し記述する表現力を問うことを意図して出題した。

【二（古文）】

平安時代中期に書かれた『狭衣物語』を題材として、文法事項や古語の意味など高等学校で学習する基本事項、および動作の主体をつかむなどの基礎力を問うとともに、文章の内容理解や人物の心情に関わる設問を設け、正確に読解する力を問うことを意図して出題した。

【三（漢文）】

南北朝期に書かれた『顔氏家訓』の文章を題材とし、漢文に関わる必要な基礎知識を習得しているか、またその知識を活用して文を読み解き、文脈の流れや全体の主旨を把握できるか、などを問うことを意図して出題した。